真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年4月23日

事務事業名	★宿泊体験学習推進事業	担当課・係	教育委員会　自然教育センター　自然教育センター
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	 DX
施策名　No	2　心の教育と健やかな体づくり		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	友達や先生等とのふれあいを深めることのできた児童生徒の割合	%	98.6					
	活動について調べたり準備したりした児童生徒の割合	%	98.3					
	活動に満足した児童生徒の割合	%	99.7					

事業内容

・自然教室…豊かな自然の中で集団宿泊を通じて、心豊かでたくましい児童生徒の育成を図ることを目的に市内の小学３・４・６年生及び中学１・２年生を対象に宿泊体験学習を実施。

・臨海自然教室…普段、海に接することの少ない子どもたちに、海辺で宿泊しながら自然や海にかかわる産業・文化などに触れさせることを目的に市内の小学５年生を対象に栃木県立とちぎ海浜自然の家を利用し宿泊学習を実施。

前年度の課題（Check）

熱中症リスクのある7月から9月前半の宿泊学習の実施をなくし、宿泊日数を小学４・６年生、中学１・２年生は２泊３日、小学３年生は、１泊２日で実施。少ない泊数の中においても、内容を充実。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業

・自然教室…熱中症リスクのある７月及び９月前半の宿泊学習の実施をなくし、宿泊日数を小学４・６年生、中学１・２年生は２泊３日、小学３年生は、１泊２日で実施。

・臨海自然教室…茨城県鉾田市にある栃木県立とちぎ海浜自然の家において２泊３日で宿泊学習を実施。

【２】結果と課題（Check）

少ない泊数においても活動に満足してもらえるよう、内容の充実。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと

昨年から１泊減らしての宿泊学習において、活動内容の効果が高まるようなプログラムの精選。
自然教育センターでしかできない自然素材を活かした活動の実施。

（2）長期的な計画で検討すること

小学３・４・６年、中学１・２年までの期間利用することから、学年や発達の段階を考慮した系統性のある活動になるよう学校に示していく。